

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。  
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になっております。

昼間の時間がずいぶんと長くなり、夏が近づいてきました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

皆さまは、ナンジャモンジャという木をご存じですか？

ナンジャモンジャは、「ヒトツバタゴ」というのが正式名称で、5月頃に雪のように真っ白な花を木いっぱいに咲かせる姿が美しく「なんじゃこの木!？」から「ナンジャモンジャ」と呼ばれるようになったといわれています。

画像でしか見たことがないその木を、いつか見に行きたいな〜と、ぼんやりと思ったのはいつのことだったか……。あれから数年がすぎ、たまたま SNS に満開のナンジャモンジャの写真が流れてきました。

「いつか行こう、いつかやろう」と思いながら、なかなか実現しないのは私だけでしょうか。行きたい場所を見つける度に、グーグルマップに保存して★マークをつけるのですが、★は年々増える一方で、実際に訪れる機会はほとんどありません。

「また来年……」と一瞬よぎったものの、来年になったら忘れてしまうかもしれませんし、タイミングを逃せば花も散ってしまいます。行くな「今でしょ!」ということで、滋賀県近江八幡市の沙沙貴神社（ささきじんじゃ）へ行ってまいりました。

JR 安土駅から徒歩 15 分、境内に入ると白くこんもりとした木が目飛び込んできました。

「うわぁ〜!」

大きな木にレースのように繊細な真っ白の花がびっしりと咲き誇っています。

素晴らしい。すごい。きれい。

なんと美しいことでしょう。これは現実なのだろうか？まるで夢をみているかのようです。

「なんじゃこの木!？」と思わず言ってしまうのも納得。

この世のものとは思えない美しさです。

ナンジャモンジャの迫力に圧倒されましたが、ナンジャモンジャ以外にも、四季折々の草花がとても美しいのも沙沙貴神社の見どころです。境内の奥のほうでは様々な草花がお庭を彩っていました。一年にわたってそれぞれの季節の花木や草花を楽しめるようになっていて、可憐なピンクのウツギや風鈴ツリバナという一風変わったお花などを楽しみました。

「沙沙木」と「佐々木」の関係も気になるところです。境内には「佐々木源氏発祥の地」と書かれていました。天皇家の血を引く、最も有力な武士の名門一族「清和源氏」の末裔がこの地に住み、地名にちなんで「佐々木」と称するようになったといわれています。また、こちらの神社には、沙本毘古命（さほびこのみこと）など、佐々木氏の祖神がまつられているということです。

このお便りを書くために下調べをしたところ、ナンジャモンジャの木は大阪城公園にもあることがわかりました。わざわざ滋賀までいかなくてもすぐ近くにありました。写真を検索してみました。まだ木が小さいように思います。沙沙貴神社のナンジャモンジャの迫力は、やはりすばらしいです！来年は大阪城公園と沙沙貴神社と両方に行ってみたいです。

朝晩は冷えますが、お昼間は蒸し暑くなってきましたね。皆さまもお身体を大切に、心地よい毎日をお過ごしくださいませ。



大きな木に真っ白で繊細なお花



風鈴ツリバナ

今月も最後までお読みいただき  
ありがとうございました。

来月もよろしくお願いいたします。